

キャリアカフェ2011 マリー・キュリー の考えたこと

2011年は、マリー・キュリーが2回目のノーベル賞を受賞してから100年という記念すべき年です。ですが、女性が自然科学の領域で活動しにくい現状は100年経っても変わっていません。男女共同参画の視点から、今の大学と社会に必要なものが何であるのかを一緒に考えたいと思います。

2011年8月10日 **水**

9時～10時30分

神戸大学深江キャンパス
梅木ホール

講演 9時～10時30分

マリー・キュリーの 足跡をたずねて

山内 知也 やまうち ともや 氏
神戸大学大学院海事科学研究科 教授

マリー・キュリーが活躍した時代を
エーヴ・キュリーやスーザン・クインによる伝記、
あるいはその時代の音楽や絵画、後年の
ハリウッド映画の映像も含めて振り返りたいと考えています。
ポロニウムとラジウムという新しい元素を発見することが
出来た鍵は何であったのか、放射能という新しい物質の性質を発見し、
核化学という新しい科学領域を切開くことが出来たのはなぜなのかについて、
同時代に生きた他の科学者たちとの比較を通じて考えたいと思います。

キャリアカフェに参加したい方は・・・

参加希望者は以下の連絡先へメールにてお申込み下さい
神戸大学男女共同参画推進室（担当：中原、西谷） Email: gnrl-kobestyle@office.kobe-u.ac.jp
定員 なし / 参加費 無料 / 参加申し込み切 8/5(金) 当日参加も歓迎！

主催 神戸大学男女共同参画推進室・神戸大学大学院海事科学研究科

